

平成 22 年 5 月

## 検査実施料新規収載のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、「保医発第 0430 第 1 号」により、下記項目につき検体検査実施料が平成 22 年 5 月 1 日より新規適用されることになりましたので、ご案内申し上げます。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくお取り計らいの程お願い申し上げます。

敬具

\*\*\*\*\* 記 \*\*\*\*\*

### ■「検査実施料」の新規収載項目

検査項目名	実施料	判断料	点数区分	備考
血清中抗 RNA ポリメラーゼⅢ抗体	170	免疫 144	「D014」自己抗体検査の「10」	ア. 血清中抗 RNA ポリメラーゼⅢ抗体は、「10」の抗 Scl-70 抗体に準じて算定する。 イ. びまん性型強皮症の確定診断を目的として行った場合は、1 回を限度として算定できる。 ウ. イの診断において陽性と認められた患者に関し、腎クリーゼのリスクが高い者については治療方針の決定を目的として行った場合に、腎クリーゼ発症後の者については病勢の指標として測定した場合に、それぞれ 3 月に 1 回を限度として算定できる。

### ■「検査方法」が追加された項目

検査項目名	実施料	判断料	点数区分	備考
ヒト心臓由来脂肪酸結合蛋白 (H-FABP)	150	生化 I 144	「D007」血液化学検査の「30」	「30」のヒト心臓由来脂肪酸結合蛋白 (H-FABP) は ELISA 法、免疫クロマト法、ラテックス免疫比濁法又はラテックス凝集法により、急性心筋梗塞の診断を目的に用いた場合のみ算定する。ただし、ヒト心臓由来脂肪酸結合蛋白 (H-FABP) と「30」のミオグロビンを併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。